

2016年月日

ほしざらサロン7月議事録

文責：山本親弘

日 時：2016年7月30日（土）

18:30～22:00

場 所：プラネタリウム事務所

参加者：篠原、山下、山田（明）

（50音順、敬称略）

職 員：小野田、平野、角田、山本

（計7名）

1. 8月27日（土）ほしざらウォッチング「夏の星空・火星・土星」について

8月27日に行われるほしざらウォッチング「夏の星空・火星・土星」について、職員の角田から簡単な流れを連絡しました。

【決定事項】

➤ 当日の予定

19:30～20:00 プラネタリウムでの解説

20:00～21:00 観望会（場所：アクアドーム前）

➤ 使用機材

望遠鏡をそれぞれ火星、土星、アンタレスに固定して行う。例えばタカハシ3台をそれぞれ火星、土星、アンタレスに1台ずつ向けるなど。もし参加スタッフが多ければ、火星にタカハシ2台、土星にタカハシ1台とビクセン1台、アンタレスは対空双眼鏡を使用。

➤ その他

◆ プラネでの解説は石田さんが行う予定。（惑星についての解説）

◆ 夏休み期間唯一のウォッチングなので、来場者が多く予想される。

2. 9月17日（土）ほしざらウォッチング「中秋の名月」について

9月17日に行われるほしざらウォッチング「中秋の名月」について、職員の角田から説明がありました。

【決定事項】

➤ 当日の予定

19:30～21:00 観望会（場所：風の丘）

※雨天時はプラネタリウムでの解説のみ。

➤ その他

認定証は渡すが、金賞の人に名前を書くかどうかが未定。賞品はなし。

ラボで呼びかけて、次回のサロン（9月3日）でラミネートなどの作業を行う。

3. 合宿について（10/1～2）清和高原天文台

今年の合宿について、日程は場所について職員の角田から説明がありました。

【決定事項】

➤ 日程

2016年10月1日（土）～2日（日）

➤ 場所

清和高原天文台

➤ 費用

宿泊費無料（MYP負担）、交通費は実費（ただし、スタッフ同士で乗り合わせて行く場合はMYPが負担）

4. クリスマス時期の活動について

クリスマス時期の活動について、前回のサロンに引き続き、今年は何をしていくか話し合いを行いました。

【決定事項】

- 今年のクリスマスの活動は、約2年ぶりの新作、「自分たちの未来」をテーマに金星へ出かけていく物語を制作する。
- 金星は硫酸の雨が降る過酷な環境なので、プロキオンたちが乗る宇宙船が溶けてしまうと予想される。したがって、宇宙船は硫酸で一体どの程度溶けるのか、空き缶で宇宙船の模型を作って実験を行う。その実験動画を展示としてプラネタリウム入口のMacで流す。

【会話録】

角田

今年のクリスマスはどうするか。昨年と一昨年は、「クリスマスのおくりもの」の1作目と2作目をリバイバルして投影を行ったが、次はどうするか。今までのサロンの中で出た意見としては、番組の中で行うクイズを制作してみる（オリオンさんがクイズを出すなど）というものや、紙芝居などがある。紙芝居については、その場で読むことが難しそうであれば、事前に録音したもの流してはどうかという意見も出ていた。

小野田

（紙芝居を行う）頻度にもよるのではないか。1回のみのイベントであるなら生の読み聞かせのほうが良いかも知れない。

篠原

オリオンさんがクイズを出題するというのは、良いアイデアだと思う。プラネタリウムに来ることができない県外に出てしまったスタッフも、一言何か録音してもらうことで参加できる。

（クイズの種類を）何パターンか用意して毎週違うクイズを出すのもおもしろいのではないか。

角田

惑星について紹介などの、ちょっとした解説をほしざらスタッフが行うという案も出ていた。

1つおはなしを制作するとなると、ライトなかんじにはなりにくい。どうしても、ストーリーの中で「がんばれー！！」と子供に言ってもらうには、そのストーリーに感情移入できるだけの内容が必要になってくる。

山下

みなさんは、おはなしをやりたいのか？

篠原

やりたい気持ちはあるが、やりたい光線しかだせない。

小野田

光線だけに高専。今までのおはなしのキャラクターは残しつつ、しかし、あまり負担がないようなボリュームで作れるのが理想だが。

山下

(おはなしを) やるとして、メンバーは集まるのか。

全員

少なくとも松井さんは掲示板でも率先して呼びかけをしてくれているので、参加できないということはない。

小野田

何か、書いてみたい題材はあるか？

山田

子供たち、何か自分たちの未来を考えてもらえるような内容が良いのではないか。

角田

火星に移住というのも良いが、過去の作品で火星はもう既に行つたことがある。

山田

温暖化をテーマにしてみると面白いのではないか。

篠原

地球の兄弟星、金星を見に行くというのはどうか。金星の姿を見て、プロキオンが呆然としているような描写がありつつ、環境はとても大切なことであるということに結びつける。同じような大きさの地球と金星だが、少しの条件が変わるだけで、こんなにも環境が違う惑星になる。惑星は微妙なバランスで成り立っているということを考えてもらえば良いかもしれない。

山田

地球の未来を金星と重ねるような感じにすると良いかもしない。

篠原

教訓くさくするのではなくて、少しの違いでいろいろと変わってしまう、ぐらいで伝えたい。

小野田

ちょうど 12 月は実際の空で金星が見えている。

篠原

ストーリー展開の始めとして、プロキオンぼうやが空を見上げて「あの明るい星は何？」からスタートしてみるといいかもしない。

山下

構成は、金星に行って、何かがある途中にアクシデントがあって「がんばれー！！」という流れにするのか？

平野

(アクシデントは、) プロキオンたちが金星のスーパーローテーションに巻き込まれるのはどうか？

小野田

宇宙船が濃硫酸で溶けてしまうというのはどうか。

山下

ストーリーの着地点として、(テーマを未来とするならば、環境が過酷な金星のように地球をさせたくないという悪いイメージよりは、) 何かいいものがあって、それになりたいという明るい未来に繋がるものにしたい。

そして、そうするためには自分はどうすれば良いんだろうと子供たちに思ってもらう形で終わりたい。

角田

自分で見つけた、と思えるもの記憶に残る。

小野田

身近なこと、日々の生活の中で何気なくやっていることが、実は繋がっている。

篠原

例えば、出発前に水やりをしていた草が、地球に帰ってきたら花が咲いていた。やはり地球はいいなと感じる。そんなふうに感じてくれれば、あとは自分でどうすればいいか考えよう、というスタンスでもいいのではないか。

山下

少しストーリー展開が火星のときと似ているような気がするので(ストーリーを)少し考えたい。

山田

出口に何か展示物を置いてみるのもいいかもしない。

角田

金星の硫酸がどのくらい金属を溶かすのか、実験をしてそれを展示してはどうか。宇宙船に似せた空き缶を用意して、それに硫酸を掛けてみると一体どの程度溶けるのかという動画を撮影して、プラネタリウム入り口の Mac で流してみてはどうか。

山下

登場人物の他に、ゲストのような枠が無いが、どうするか。

角田

金星のことを教える先生を登場させてはどうか。

山下

先生役はオリオンさんがはまる気がする。

山田

ゲストには、未来のプロキオンを登場させてはどうか。

今回のサロンでは話が盛り上がって時間切れとなり、詳しい内容まではたどり着かな
かったのですが、約2年ぶりの新作を制作することに決定しました。

5. 冬の時期の観望会について

冬の時期の観望会について、職員の角田から説明がありました。

【決定事項】

- 前回のサロンで、冬の時期の観望会の候補日は1月28日となっている。
- 観望対象はオリオン大星雲やアンドロメダ銀河、すばるなど。
- 9月17日のほしざらウォッチングが最後のウォッチングなので、その日に冬の観
望会をお知らせできるよう、次回のサロンで決めていく。

6. 今後の出張観望会について

- 07/31（日） (18:00~21:00)

出張観望会 岡垣サンリーアイ（岡垣図書館）

- 08/07（日） (18:00~21:00)

出張観望会 宗像ユリックス（古賀ボーイスカウト）

- 08/19（金） (18:00~21:00)

出張観望会 ふれあいの森（宗像市夏の課外授業）→雨天・曇天時は8/26に順延

- 10/07（金） (18:00~21:00)

出張観望会 宗像ユリックス（宮若市山口小）

- 10/09（日） (18:00~21:00)

出張観望会 日の里西小（日の里コミュニティ）→雨天・曇天時は10/23に順延

次回の「ほしざらサロン」は、9月3日（土）です。